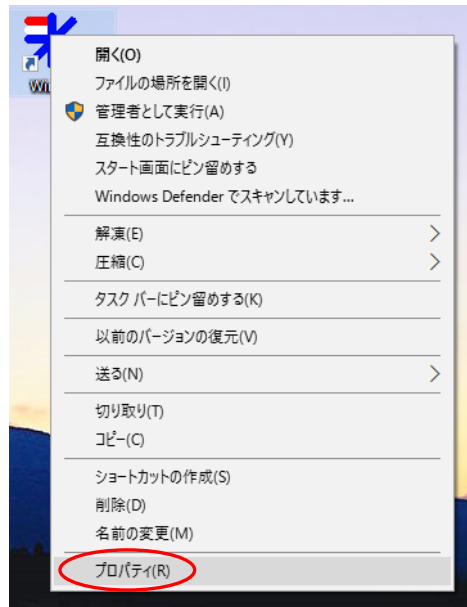


winDV に JR3VH のリフレクター番号を割り付ける

Shu JA3GQJ

まだまだ試験運用の域を出ませんが昨年来から懸案の JR3VH のリフレクターを開設する運びになりました。そのためには以下の要領で winDV に番号を割り付ける必要があります。

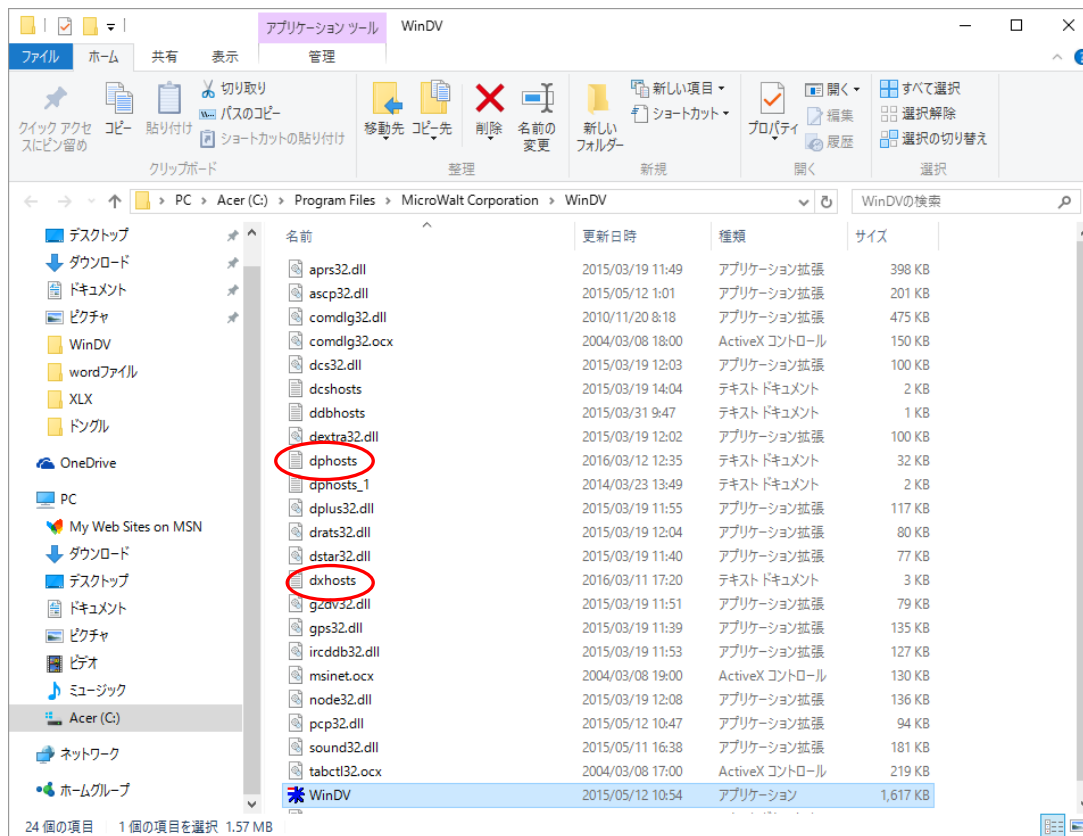
- 1) デスクトップのアイコンを右クリックして開いた画面の一番下にある「プロパティ」を選択します。



- 2) 開いた「winDV プロパティ」画面の「ファイルの場所を開く」をクリックします



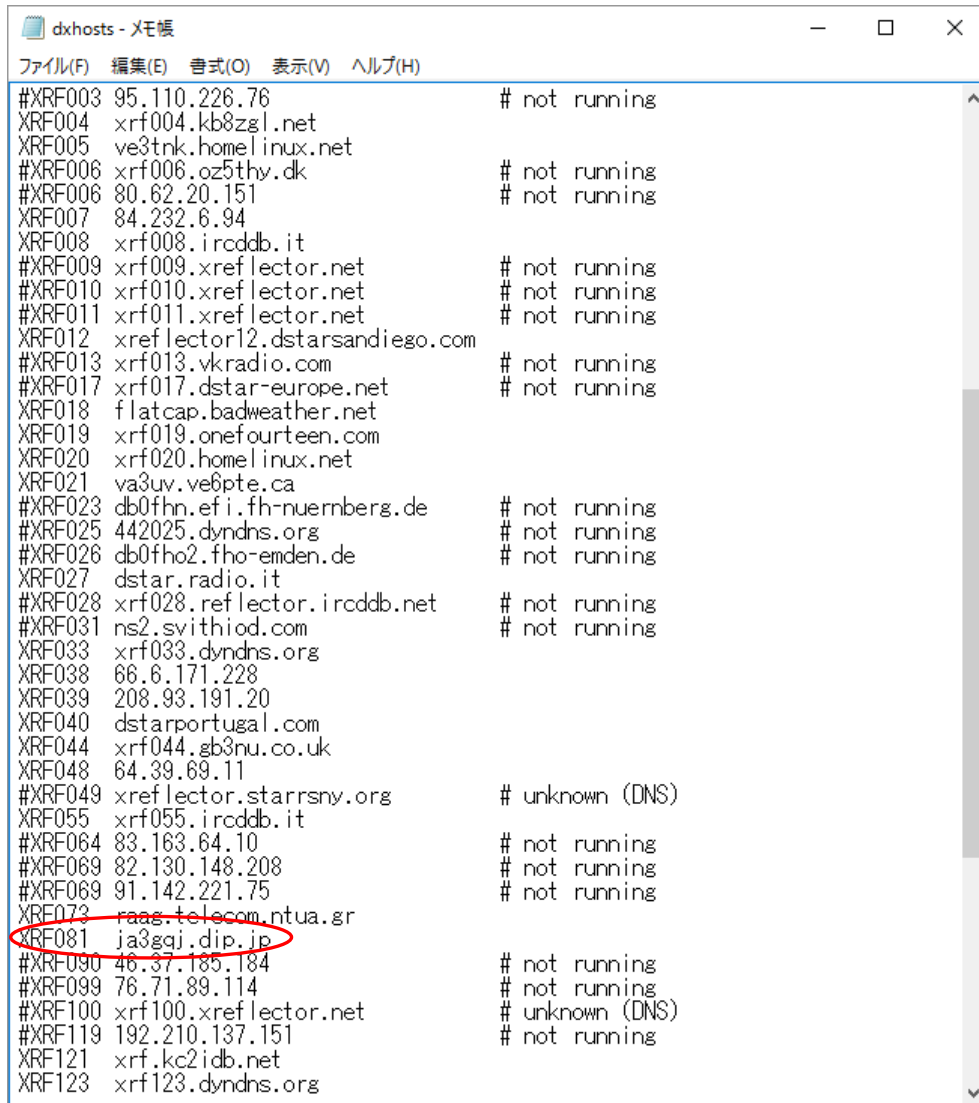
3) すると winDV のフォルダーにあるファイルの一覧が表示されます。



5) そのファイル一覧から「dxhosts」と「dphosts」の二つのファイルをドラッグしてからデスクトップにドロップして貼り付けます。

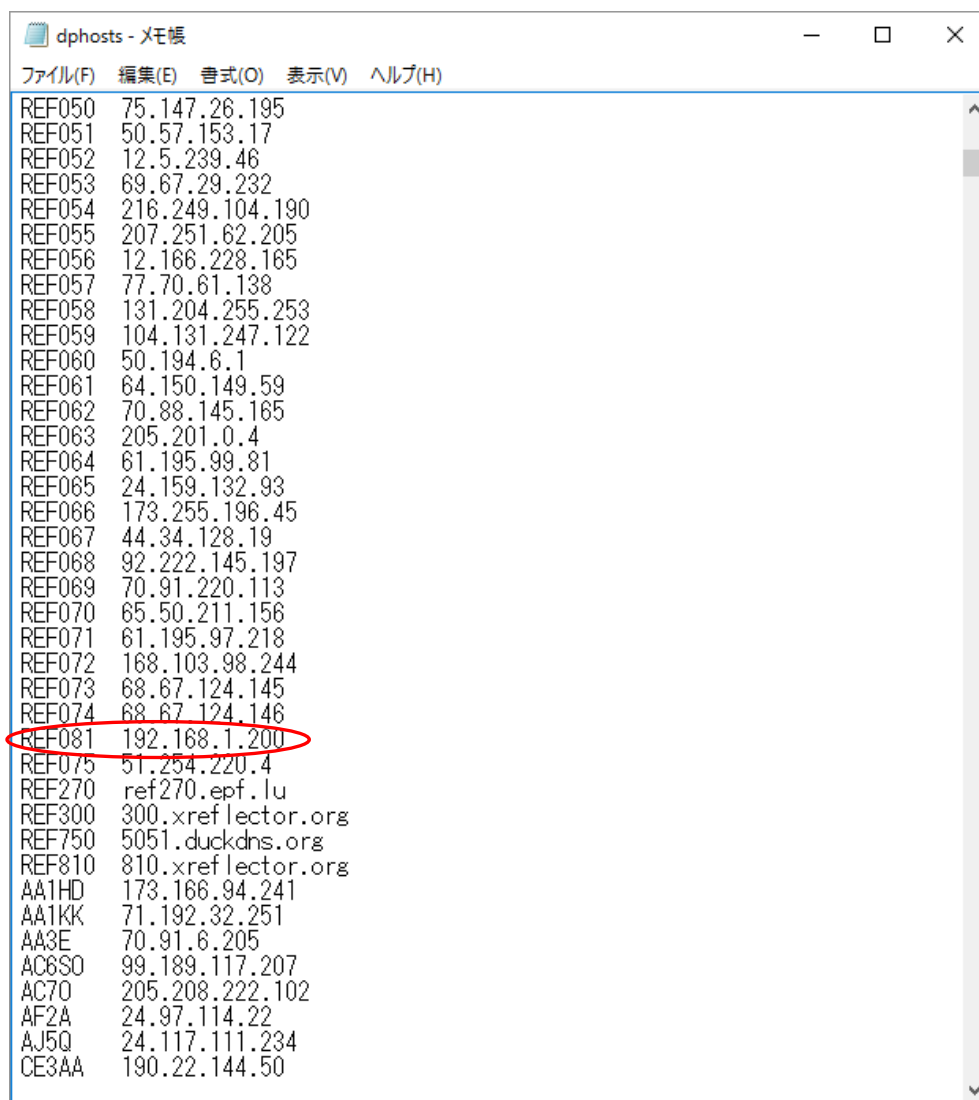


- 6) ディスクトップに貼り付けた二つファイルのどちらが先でもいいのですがダブルクリックしてそのファイルを開きます。この例のように「dxhosts」を開いたときは次のように XRFxxx リフレクターのリストの一覧が表示されますのでそこへ前後の例に習って「XRF081 ja3ggj.dip.jp」の一行を書き込んで保存します。



```
dxhosts - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
#XRF003 95.110.226.76 # not running
XRF004 xrf004.kb8zgl.net
XRF005 ve3tnk.homelinux.net
#XRF006 xrf006.oz5thy.dk # not running
#XRF006 80.62.20.151 # not running
XRF007 84.232.6.94
XRF008 xrf008.ircddb.it
#XRF009 xrf009.xreflector.net # not running
#XRF010 xrf010.xreflector.net # not running
#XRF011 xrf011.xreflector.net # not running
XRF012 xreflector12.dstarsandiego.com
#XRF013 xrf013.vkradio.com # not running
#XRF017 xrf017.dstar-europe.net # not running
XRF018 flatcap.badweather.net
XRF019 xrf019.onefourteen.com
XRF020 xrf020.homelinux.net
XRF021 va3uv.ve6pte.ca
#XRF023 db0fhn.efi.fh-nuernberg.de # not running
#XRF025 442025.dyndns.org # not running
#XRF026 db0fho2.fho-enden.de # not running
XRF027 dstar.radio.it
#XRF028 xrf028.reflector.ircddb.net # not running
#XRF031 ns2.svithiod.com # not running
XRF033 xrf033.dyndns.org
XRF038 66.6.171.228
XRF039 208.93.191.20
XRF040 dstarportugal.com
XRF044 xrf044.gb3nu.co.uk
XRF048 64.39.69.11
#XRF049 xreflector.starrsny.org # unknown (DNS)
XRF055 xrf055.ircddb.it
#XRF064 83.163.64.10 # not running
#XRF069 82.130.148.208 # not running
#XRF069 91.142.221.75 # not running
XRF073 raag.telecom.ntua.gr
XRF081 ja3ggj.dip.jp
#XRF090 46.37.185.184 # not running
#XRF099 76.71.89.114 # not running
#XRF100 xrf100.xreflector.net # unknown (DNS)
#XRF119 192.210.137.151 # not running
XRF121 xrf.kc2idb.net
XRF123 xrf123.dyndns.org
```

- 7) 同じ要領で「dphosts」を開いて今度は REFxxx リフレクターリストに「REF081 192.168.1.200」と記入して保存します。



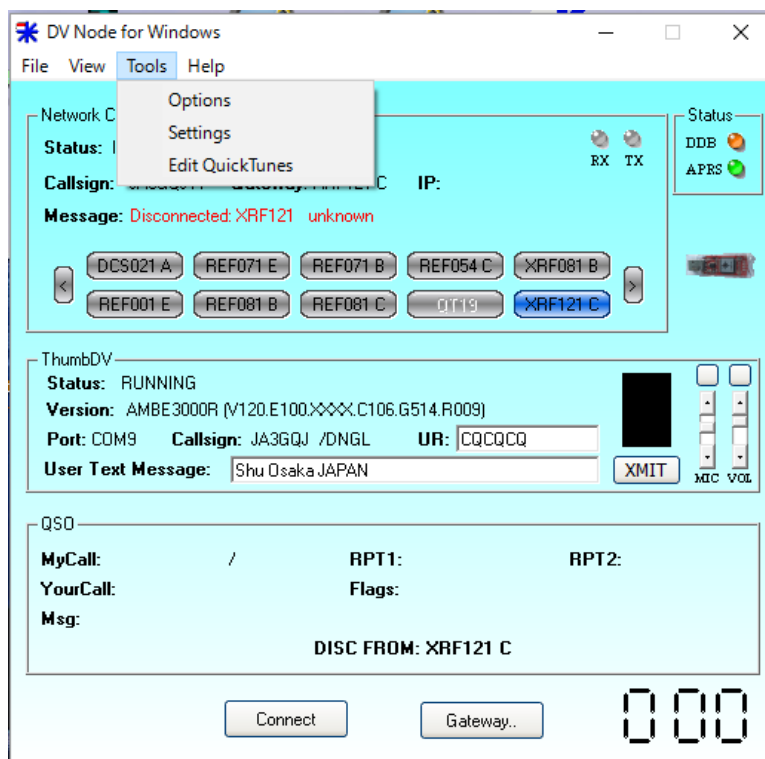
- 8) これで JR3VH のリフレクターが XRF と REF の両方で使えるリストに追加されましたのでディスクトップにあるこれら二つのファイルをドラッグして元の winDV のフォルダーに戻します。

お気づきのように入力するデータがリフレクターによって XRF は「ja3gqj.dip.jp」REF は「192.168.1.200」のように異なっています。

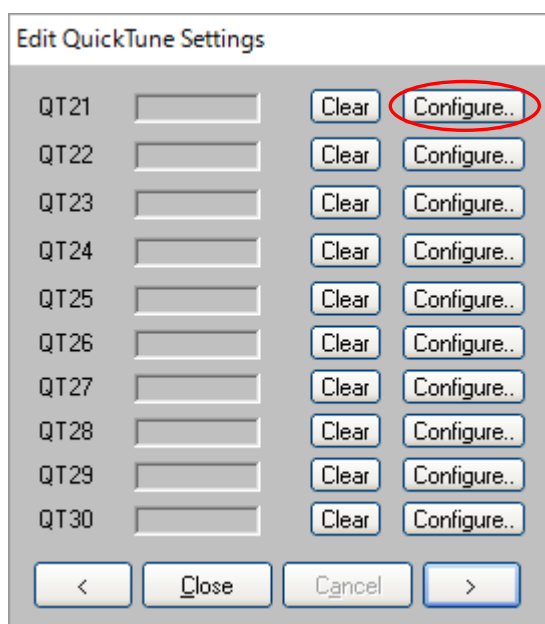
本来は両方とも「ja3gqj.dip.jp」で動作しなければいけないはずですが、当局の試行ではこのように二通りを採用しないと旨く動作しませんでした。

- 9) リストの整理が終わると以前 REF001 とか REF071 を「DV Node for Windows」画面のボタンに割り付けたように空いているボタンを選んで「Gateway Selection」画面のリストから XRF0081 と REF081 をそれぞれ選んで割り付けをします。

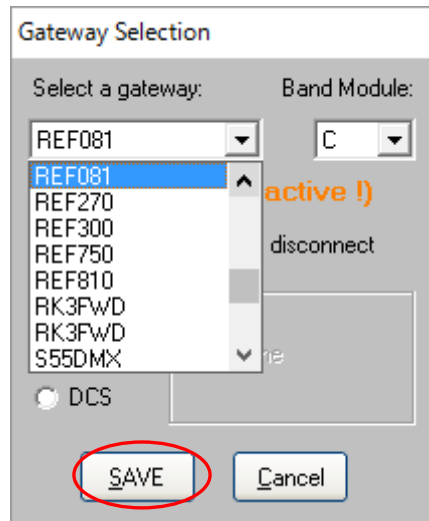
「Tool」 → 「Edit Quick Tunes」を選択。



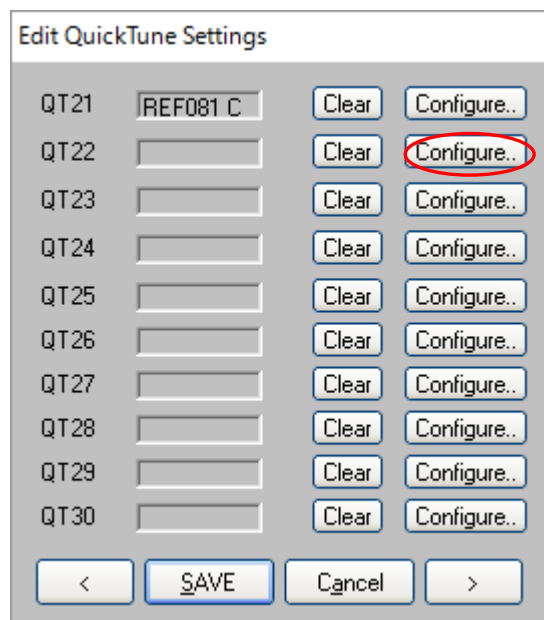
「Edit QuickTune Settings」画面が開くので空いてるところの「Configure」ボタンをクリックします。



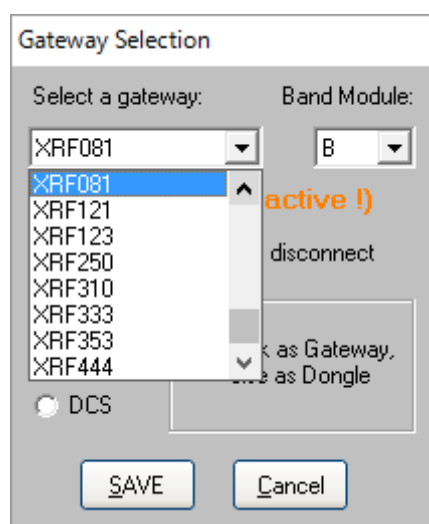
どちらが先でよいですが開いた「」画面で REF081 と XRF081 次のステップで各ボタンに割り付けます。



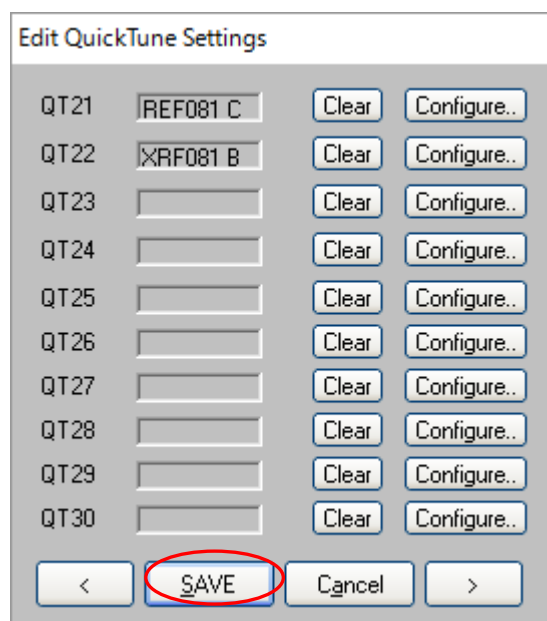
REF081C を選んで「SAVE」クリック



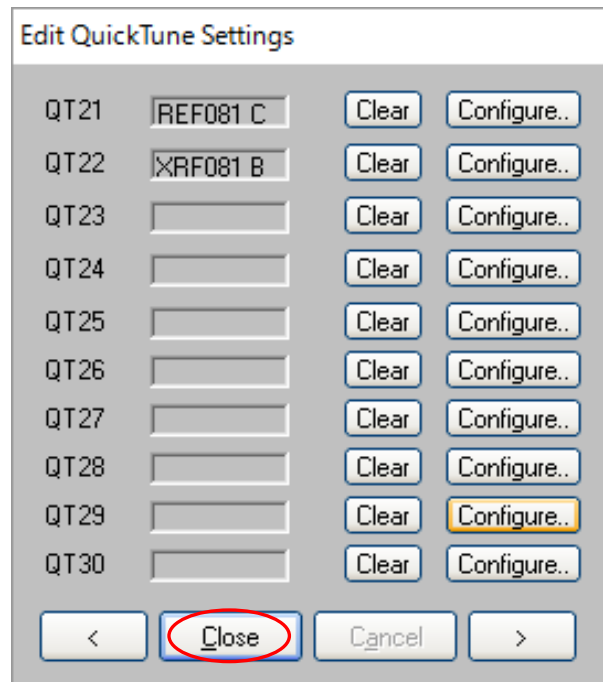
REF081C が空欄に入ったことを確認したら次の「Configure」ボタンをクリック。



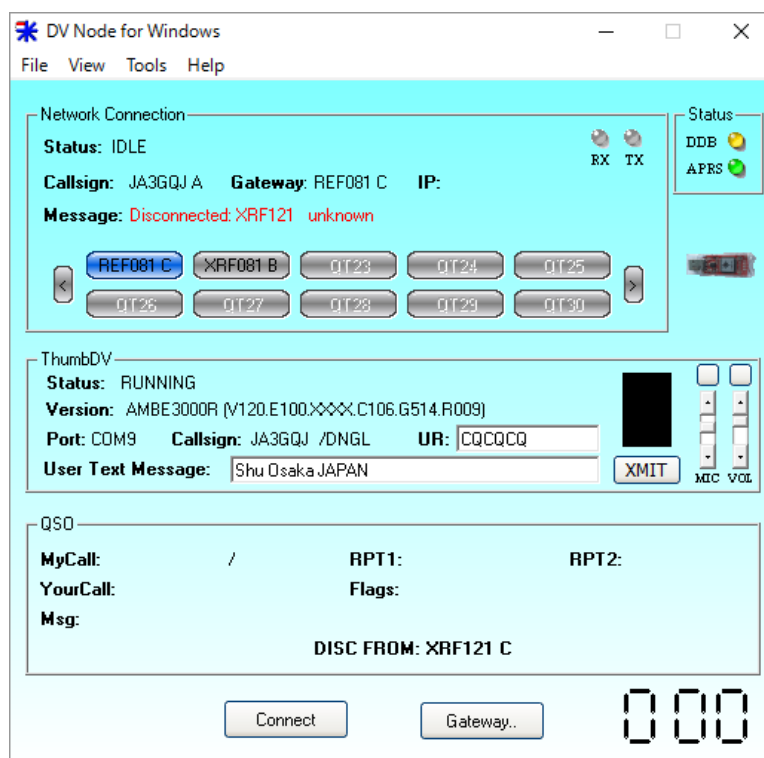
XRF081B を選んで「SAVE」クリック



XRF081B が次の空欄に入ったことを確認したら次の「SAVE」ボタンをクリック。



「Close」ボタンをクリックして「Edit QuickTune Settings」画面を閉じる。



「DV Node for Windows」画面に戻ったら予定したボタンに REF081 と XRF081 があることを確認する。

以上が当局で試験運行を行った結果のまとめです。JR3VHのリフレクター番号は081です。その前に XRF が付けばヨーロッパ系、REF が付けばアメリカ系でそれぞれ XRF081、REF081 となります。ほかに DSC 付けばドイツ系のリフレクターになりますが今回は省略しています。

今朝ほど JH1RDA 斎藤さんからいきなり「JR3VH リフレクター開局おめでとう」とのメールが入り記録を見ると昨晚の午後 11 半ごろに JR3VH のリフレクターに第一号としてアクセスされていました。彼は海外のフォーラムで当局の動きを察知していたそうです。

そんなこんなで我が JR3VH クラブの皆さんもわいわいがやがや、我がリフレクターにアクセスする試みをして頂きたいと思います。

何せこの **XLX Multiprotocol Gateway Reflector** というソフトはつい最近ルクセンブルグの **XL1IQ Luc** さんによって開発されたもので運用していく中で色々なバグが出てくると思いますが、かの斎藤さんとは XRF018B で QSO 出来ましたので**我がリフレクターは稼働している事が実証されましたが**今回立ち上がったリフレクターはとりあえず当局が使用していた DNS プロバイダーのグローバル IP アドレスを流用している関係で本来なら **ja3gqj.dip.jp** は **jr3vh.dip.jp** にならなければなりません動作状態が安定するのを見計らってそのあたりも整理してはと思っています。また、**当初予定していたリピーターとのリンクがどうなるのかは現在不明です。**などなど、今後整理しなければならない事柄が沢山出てくると思いますがまずは試運転が出来るようになったことをご報告します。

As of March 12, 2016